

飯田市地域DX推進ロードマップ

令和 8年 3月版
飯田市

1-1 | 地域DX推進ロードマップ策定の趣旨

近年、生成AIの登場やIoT、ビッグデータの活用などのデジタル技術は、加速度的に進展しており、私たちの生活に深く浸透し、大きな変化をもたらしています。特にスマートフォンやインターネットの普及・利用は、コミュニケーションツールとしての機能だけでなく、様々な手続の窓口機能や金融決済の機能を担うなど、日常生活に欠かせない社会インフラとなっており、デジタル技術の活用を前提とした社会への変革が始まっています。

一方で、人口減少や少子高齢化により、労働生産力や地域の担い手の減少、経済規模の縮小など社会構造的な課題が顕著なものとなってきています。また、自治体においては限られた職員数や財源の中で、社会環境の変化に伴う市民からのニーズに対応しつつ、効率的で質の高い持続可能な行政サービスの提供が求められています。

こうした地域社会の状況を踏まえ、デジタル技術を市民生活や産業活動などにおける様々な課題の解決や新たな価値やサービスを創出する変革の手段として活用し、各分野においてDXを着実に推進するための地域DX推進ロードマップを策定し、誰もが利便性や恩恵が実感できる持続可能な地域社会の構築に取り組みます。

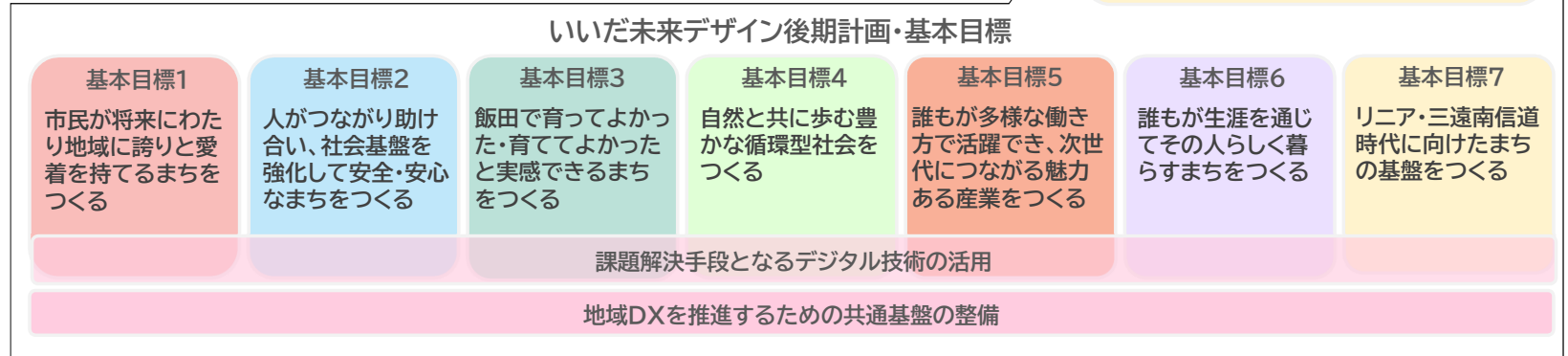
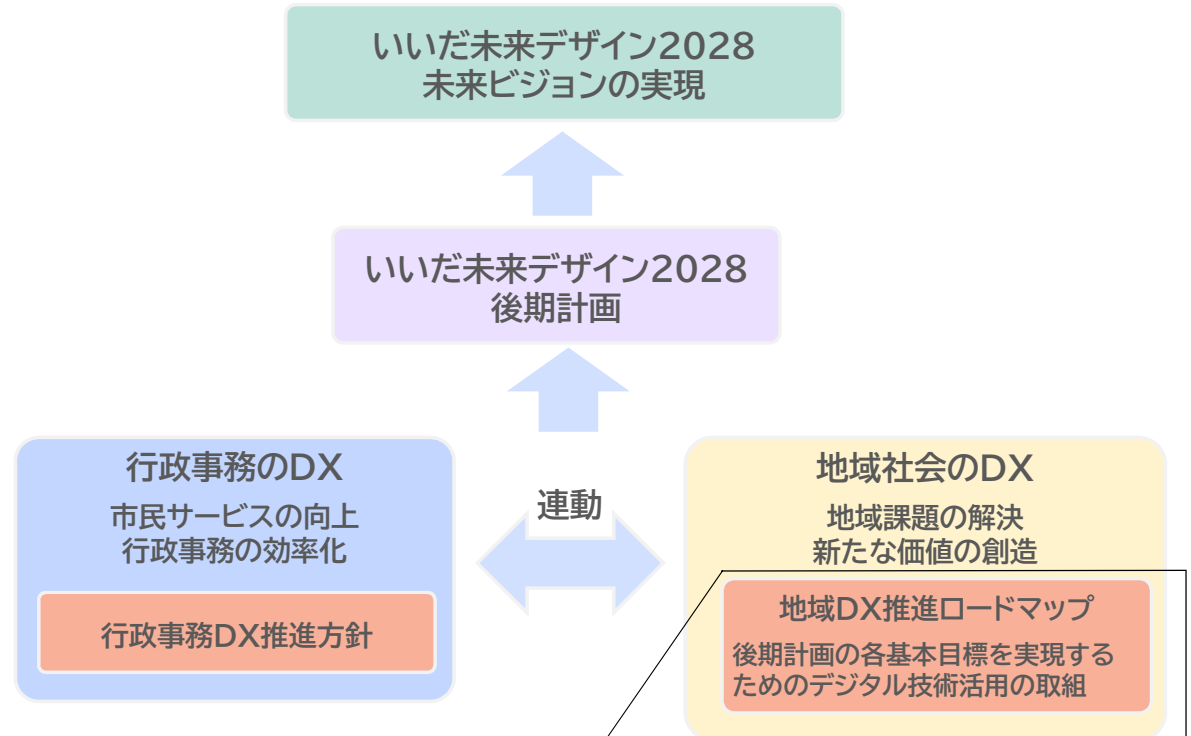


1-2 | 地域DX推進ロードマップの位置づけ

飯田市では行政サービスの向上や市役所業務の効率化などを推進するため、令和4年3月に飯田市行政事務DX推進方針を策定し、行政手続のオンライン化による市民サービスの向上や市役所業務のペーパーレス化などによる、デジタルのまま完結できる事務処理への移行に向けて取り組んでいます。

地域社会のDXは市民の生活様式や働き方などあらゆる分野に関わることから、いいだ未来デザイン2028後期計画では、DXの推進を後期計画の考え方に位置づけ、デジタル技術の活用を前提に戦略を組み立てています。

地域DX推進ロードマップは、後期計画の各基本目標を実現するために必要な「手段としてのデジタル技術」を検討し、実装していくための取組をまとめ、行政事務のDX推進と連動して地域社会のDXを推進し、いいだ未来デザイン2028が掲げる未来ビジョンの実現を目指します。



1-3 | デジタル技術の活用による効果

- ・リアルタイムな情報収集や共有が可能になる

例：災害時の状況や避難者情報の把握、交通状況や施設の混雑状況の把握、エネルギーの管理

- ・時間や場所に制約されずに仕事や活動ができるようになる

例：リモートワーク、二地域居住、オンラインセミナー、リモート監視

- ・先端技術が進展し生産性の向上やサービスが高度化する

例：スマート農業、ドローン配送、自動運転

- ・地理的な制約を超えて情報やサービスへのアクセスが容易になる

例：コンテンツ配信、オンライン講座、デジタルアーカイブ

- ・コミュニケーションの円滑化が図られる

例：SNS、オンライン会議

- ・「もの」を「データ」で置き換えることで利便性が向上する

例：電子マネー、地域通貨（ポイント）、電子チケット、電子地図

- ・データを元にした予測や分析により、戦略的な施策や新たなサービスが創出される

例：観光振興、健康推進、インフラの予防保全、サービス提供の個別化

- ・業務効率が向上する

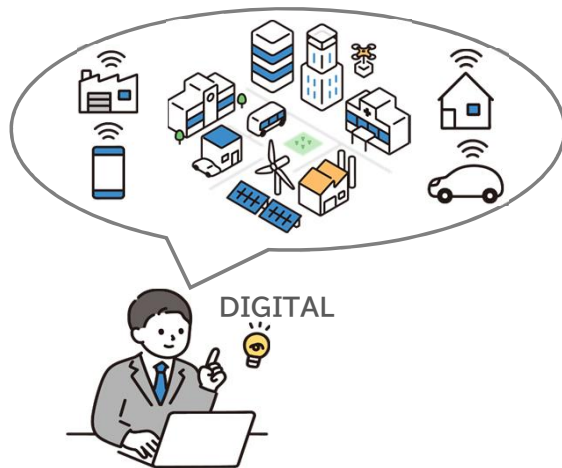
例：電子申請、ペーパーレス、データ連携



次の取組方針に基づいてデジタル技術を積極的に使い、デジタル実装による新たな仕掛けや仕組みをつくります。

取組方針1

既存の取組の中にデジタル技術の要素をできるところから取り入れる。新たに始める事業はデジタル技術の活用を前提に計画する



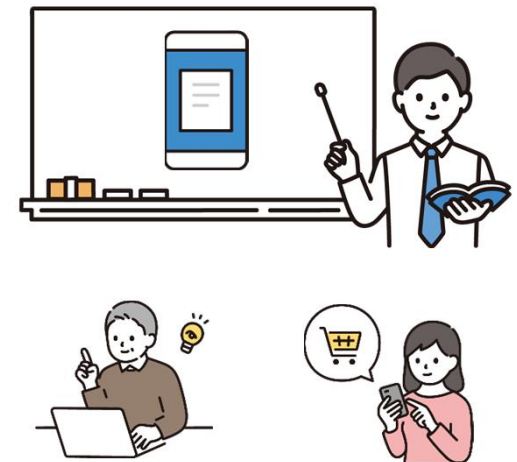
取組方針2

市民・地域自治組織・各種団体・教育機関等のステークホルダーと協力・連携して取り組む



取組方針3

誰もが安心してデジタル技術を活用できるように、デジタルデバイド（情報格差）の解消やデジタル人材の育成に取り組む



2 | 各基本目標におけるDXの取組テーマ(イメージ)

デジタル技術を活用した地域課題の解決

◆基本目標1 市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる

市政や地域への関心を高めるための情報発信
 持続可能な地域自治活動の推進
 文化財等のコンテンツ化による地域の魅力向上
 文化財等の理解促進
 美術博物館での学びの場の環境整備
 飯田の魅力発信、学び推進のための総合的アーカイブの構築
 移住定住・関係人口づくりの推進
 空き家の利活用
 外国人住民が生活しやすい地域づくり
 地域イベントの省力化

◆基本目標2 人がつながり助け合い、社会基盤を強化して安全・安心なまちをつくる

災害時の情報伝達手段の確保
 災害時の迅速な避難者情報の把握
 災害時避難行動要支援者の個別避難計画の作成
 体験型防災学習
 被災者の迅速な生活再建
 消防団業務の効率化と負担軽減
 消費者トラブルの未然防止
 社会インフラの効率的な整備・改良・維持管理
 上下水道施設の災害対応力の強化

◆基本目標3 飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる

公民館活動の推進
 安心して出産や子育てができる環境の整備
 保育所等の現場の負担軽減
 教育DXの充実
 児童クラブの効率的な運営
 給食費公会計業務の効率化
 学びの場や学びの機会の充実

◆共通項目 地域DXを推進するための共通基盤の整備

2 | 各基本目標におけるDXの取組テーマ(イメージ)

デジタル技術を活用した地域課題の解決

◆基本目標4 自然と共に歩む豊かな循環型社会をつくる



環境学習機会の創出



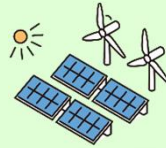
ごみの減量と3Rの推進



環境保全に向けた行動変容



エシカル消費の推進



省エネルギーの推進・再生可能エネルギーの活用促進

◆基本目標5 誰もが多様な働き方で活躍でき、次世代につながる魅力ある産業をつくる



営農者の高齢化対策・後継者支援



森林資源の利活用推進



事業承継者問題の解決



多様な働き方ができる場の創出



中小・零細・高齢事業者のデジタル支援



観光サービスのデジタル化推進



戦略的な観光振興



地域内経済循環の推進



製造業のDX推進

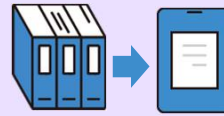


空の空間利活用による新産業の育成



新産業の育成

◆基本目標6 誰もが生涯を通じてその人らしく暮らすまちをつくる



民生委員・児童委員の負担軽減



デジタルデバイドの解消

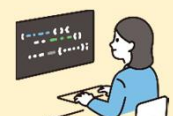


医療・介護サービス提供体制の維持



健康増進・介護予防

◆基本目標7 リニア・三遠南信道時代に向けたまちの基盤をつくる



都市計画情報のオープンデータ化



3Dデータ活用による土地利用及び景観等の検討



持続可能な地域公共交通の構築



公共交通の利便性向上

◆共通項目 地域DXを推進するための共通基盤の整備

2-1 | 各基本目標におけるDXの取組

◆基本目標1 市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる

取組テーマ	優先度	課題解決イメージ	メリット	ソリューション例
1-1. 市政や地域への関心を高めるための情報発信 (広報ブランド推進課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> デジタルツールを利用して市民に市政情報や地域情報を提供する 飯田市ウェブサイト改善プロジェクトを継続的に進める 	<ul style="list-style-type: none"> 市民が得たい情報を得たいタイミングで入手可能(情報の随時配信) 	市ウェブサイト SNS、LINE 地域情報アプリ
1-2. 持続可能な地域自治活動の推進 (総務文書課、地域自治振興課)	優先	<ul style="list-style-type: none"> 自治会を通じて紙で配布する文書や地域内の連絡手段をデジタル化する 	<ul style="list-style-type: none"> 市民への紙での資料の作成・配布などの、地域内の連絡にかかる負担の軽減 紙の削減 地域コミュニティの維持 	デジタル回覧版 地域情報アプリ
1-3. 文化財のコンテンツ化による地域の魅力向上 (文化財保護活用課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> 飯田市公開型GISにて文化財の所在地をマッピングして、所在地やその属性などを明示化する 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の市内に存在する文化財の認知度向上 市民が住む地域への誇りが持てるようになる 	飯田市公開型GIS
1-4. 文化財等の理解促進 (文化財保護活用課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> 文化財等の学習・説明動画の作成や閲覧環境を整備する 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の文化財への興味関心向上 文化財保護活動への理解の高まり 	3DCG デジタルサイネージ
1-5. 美術博物館での学びの場の環境整備 (美術博物館)	優先	<ul style="list-style-type: none"> 来館した市民に親しみをもってもらうための催事等の工夫 来館契機となる展示やイベントの情報発信 来館者が展示を見て学ぶための援助ツールの設置 展示制約が発生するものや仮想・復元された文化財等のデジタル展示 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の学習意欲の向上 美術博物館の利活用促進 来館者の展示利用のための環境向上 	VR展覧会 動画配信 各種SNS スマートグラス
1-6. 飯田の魅力発信、学び推進のための総合的アーカイブの構築 [デジタルアーカイブ] (文化財保護活用課、中央図書館、美術博物館、歴史研究所)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護活用課、中央図書館・歴史研究所・美術博物館に所蔵されている紙の資料やマイクロフィルム等をデジタル化し、各施設の資料が一括検索できるアーカイブを整備する 災害や経年劣化等による損壊や消失リスクのある文化財や史資料を、3D読み取りなどによりデジタルアーカイブにする 	<ul style="list-style-type: none"> 貴重資料の劣化防止 遠隔地からの収蔵品の内容確認が可能 仮想・復元された文化財等の学説や由来の時点修正が容易 	文化財のデジタルアーカイブ ソリューション

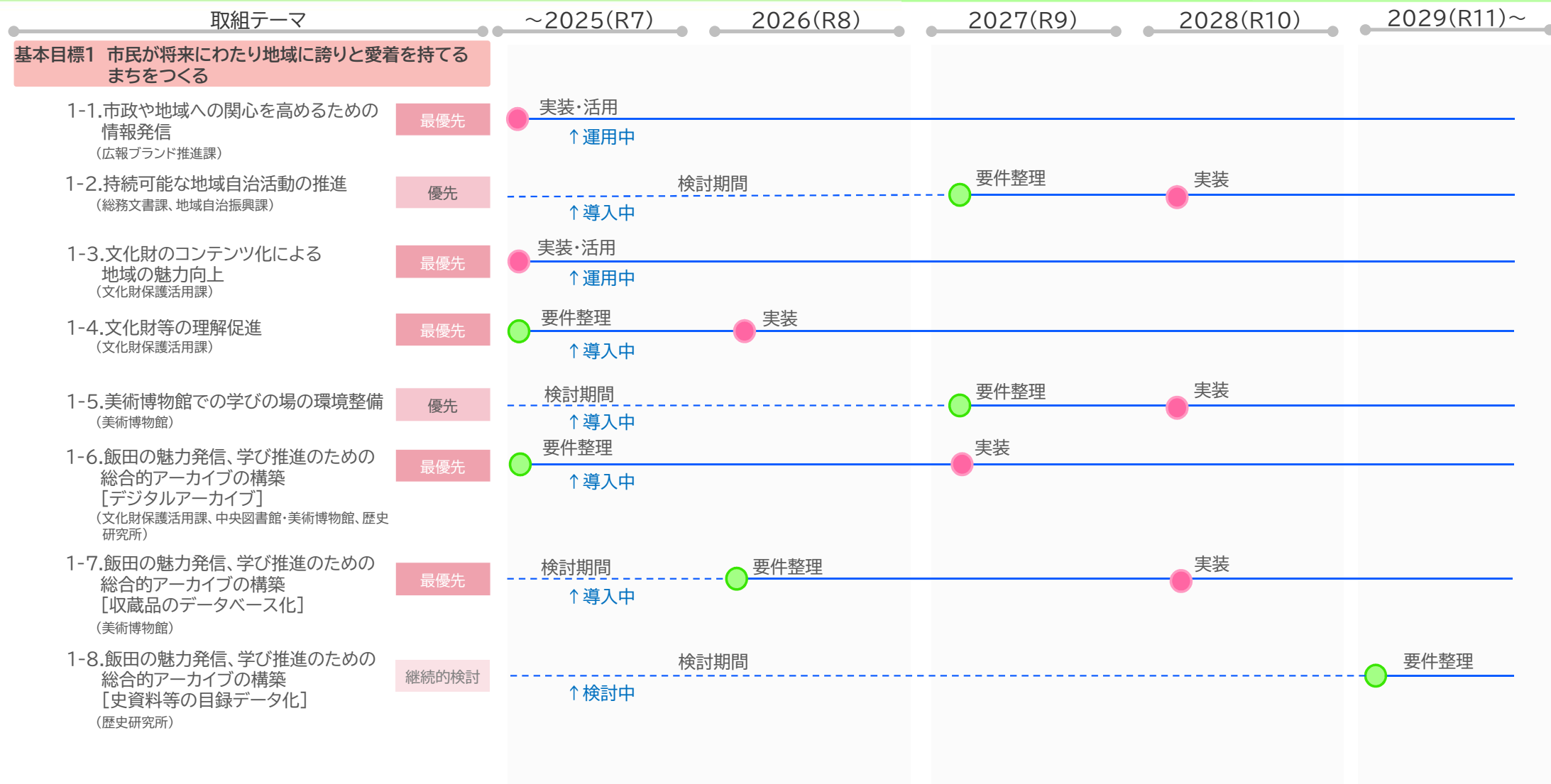
2-1 | 各基本目標におけるDXの取組

◆基本目標1 市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる

取組テーマ	優先度	課題解決イメージ	メリット	ソリューション例
1-7.飯田の魅力発信、学び推進のための総合的アーカイブの構築 [収蔵品のデータベース化] (美術博物館)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> 美術博物館の収蔵品のデータベース化 経年劣化等による損壊や消失リスクのある資料をデジタルアーカイブにする 	<ul style="list-style-type: none"> 収蔵品の管理が容易となる 全国の他博物館との収蔵品情報の共有も可能となり、収蔵品貸借などの参考となる 	収蔵品管理システム
1-8.飯田の魅力発信、学び推進のための総合的アーカイブの構築 [史資料等の目録データ化] (歴史研究所)	継続的検討	<ul style="list-style-type: none"> 歴史研究所が保存している史資料等の目録をデータ化し公開する 紙の資料をデジタル化し保存する 	<ul style="list-style-type: none"> 収容スペースの削減 史資料等資料管理の効率化 市民への公開 	目録システム
1-9.移住定住・関係人口づくりの推進 (結いターン移住定住推進課)	優先	<ul style="list-style-type: none"> 増加するUIターン相談者情報の一元管理や情報配信機能を持つシステムを構築する クラウドサービスを利用したデータ管理により相談者と行政双方の利便性を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> UIターン相談者への対応強化 配信媒体の一元化 情報配信の効率化、情報漏洩の防止 	CRM(顧客管理システム)
1-10.空き家の利活用 (結いターン移住定住推進課)	継続的検討	<ul style="list-style-type: none"> 探し手が求める情報の発信 より多くの探し手に届く手段の活用 宅建業者との物件情報の連携 	<ul style="list-style-type: none"> マッチング事業の省力化 マッチング件数の増加に伴う、空き家解消による周辺環境の改善 	空き家バンク
1-11.外国人住民が生活しやすい地域づくり (窓口対応課、公民館、共生・協働推進課)	優先	<ul style="list-style-type: none"> 窓口等での翻訳アプリ等を活用した外国語対応 外国人の方へのデジタルツールを利用した情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> 一次対応の効率化 コミュニケーションのずれ解消 	翻訳対応窓口 翻訳ツール
1-12.地域イベントの省力化 (生涯学習・スポーツ課)	優先	<ul style="list-style-type: none"> デジタルツールやデバイスを活用し、効率的で安心安全な地域イベントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> イベント運営の負担軽減 新技術を活用したイベントのPR イベント参加者の安全性向上 	GPSトラッキング ルートマッピングサービス

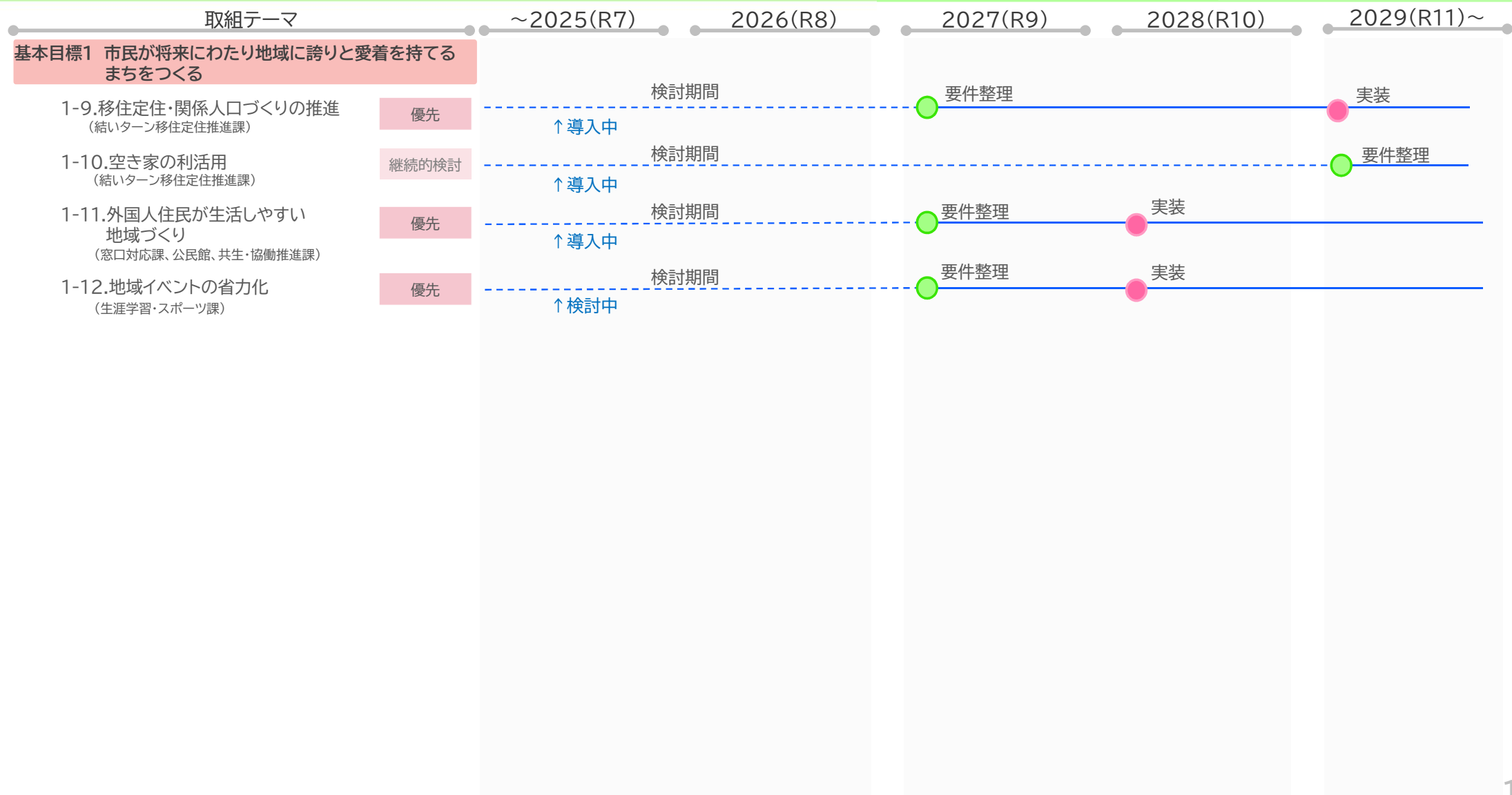
2-1-1 | 地域DX推進ロードマップ 年度ごとの取組スケジュール

凡例 ○…要件整理 ●…実装



2-1-1 | 地域DX推進ロードマップ 年度ごとの取組スケジュール

凡例 ○…要件整理 ●…実装



2-2 | 各基本目標におけるDXの取組

◆基本目標2 人がつながり助け合い、社会基盤を強化して安全・安心なまちをつくる

取組テーマ	優先度	課題解決イメージ	メリット	ソリューション例
2-1.災害時の情報伝達手段の確保 (危機管理課、広報ブランド推進課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> GISを利用して災害情報を可視化、集約化し、情報共有を図る 災害時の避難情報等を多数の媒体(個別受信器等)で発信するためのシステム連携による効率化を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の即時・均質的な情報取得が可能となる 効率的な情報配信 	飯田市公開型GIS 災害時一斉配信システム (アプリ、メール等)
2-2.災害時の迅速な避難者情報の把握 (危機管理課)	優先	<ul style="list-style-type: none"> 避難所への入所・退所時にデジタルツールを使用し、手書きで記入していた避難者情報をデータで管理する 	<ul style="list-style-type: none"> 避難所入所退所時の受付混雑の緩和 避難者情報の紛失防止 	避難者デジタル名簿システム
2-3.災害時避難行動要支援者の個別避難計画の作成 (危機管理課、福祉課、長寿支援課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> 防災アプリを活用して避難行動要支援者の個別避難計画を作成し、地域住民と自治体側で情報を共有することで避難を支援する 	<ul style="list-style-type: none"> 避難行動要支援者の迅速な避難 個別避難計画作成により支援者の負担が軽減される 	飯田防災アプリ (結防)
2-4.体験型防災学習 (危機管理課)	優先	<ul style="list-style-type: none"> AR・VR防災学習コンテンツを活用することで、リアルな自然災害の状況を体験し学習する 	<ul style="list-style-type: none"> 体験型学習による知識の定着 	AR・VR防災
2-5.被災者の迅速な生活再建 (税務課、市民課、危機管理課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> 災害時、市民からのり災証明申請のオンライン化 電子化による申請→調査→証明発行の電子化とデータの一元化 り災証明発行データを活用した生活再建の進行管理 窓口の混雑緩和と対応人員の削減 	<ul style="list-style-type: none"> 市民が窓口へ行かなくても手続きが可能になる り災証明の申請から発行までの効率化 被災者支援に係るデータの一元化 	り災証明発行システム 生活再建支援システム
2-6.消防団業務の効率化と負担軽減 (危機管理課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> 災害発生情報の取得による全団員への情報共有 参集状況の明確化、水利情報の把握、被害状況の情報共有 消防団行事のスケジュール管理や団員の出勤報告の負担軽減 各種報告書の一元化 	<ul style="list-style-type: none"> 出勤指令の情報共有、情報把握速度の向上 活動実績や報酬計算の負担軽減 	消防団アプリ (Fire Chief)

2-2 | 各基本目標におけるDXの取組

◆基本目標2 人がつながり助け合い、社会基盤を強化して安全・安心なまちをつくる

取組テーマ	優先度	課題解決イメージ	メリット	ソリューション例
2-7.消費者トラブルの未然防止 (市民課)	優先	<ul style="list-style-type: none"> 多様なメディアへの情報発信による情報に触れる機会の増加 プル型からプッシュ型への情報発信形態への移行 	<ul style="list-style-type: none"> 意図・意識することなく、消費者保護の情報に触れる機会を創出 デジタルツールに慣れていなくても、自動的に情報取得が可能 繰り返し情報発信が可能 	SNS
2-8.社会インフラの効率的な整備・改良 [事業者からの申請電子化] (維持管理課、土木課、水道課、下水道課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> 工事担当者との書面のやり取りなどについて、電子化する 	<ul style="list-style-type: none"> 電子化による紙の削減 データ化による検索性・保管の効率化 申請者、受付者双方のコスト(人工、時間など)の削減 	電子申請
2-9.社会インフラの効率的な整備・改良・管理 [インフラに対する各種要望・工事計画の一元管理] (土木課、水道課、下水道課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> 地域・住民からの新設及び改良に係る要望の一覧管理 長期的な工事計画の共有 	<ul style="list-style-type: none"> 状況把握の効率化 データ蓄積による将来予測等の促進 一体的な整備による工事の効率化 	庁内GIS
2-10.社会インフラの効率的な維持管理 [GISの活用] (維持管理課、水道課、下水道課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> 道路網図、上下水道管の埋設状況に関する情報を飯田市公開型GISで公開し、市民との情報共有を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 申請者、工事受注者などの資料作成、窓口訪問の負担軽減 市民との情報共有ができるようになる 	飯田市公開型GIS
2-11.社会インフラの効率的な維持管理 [市民・事業者からの申請電子化] (維持管理課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> 各種インフラ系施設の使用管理等に要する申請書類のデータ化と工事関係申請等を電子化する 	<ul style="list-style-type: none"> 電子化による紙の削減 データ化による検索性・保管の効率化 申請者、受付者双方のコスト(人工、時間など)の削減 	電子申請
2-12.社会インフラの効率的な維持管理 [市民からの道路・公園の異常通報] (維持管理課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> 道路損傷情報等の通報、状況把握の効率化を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 状況把握の効率化 	LINE通報機能

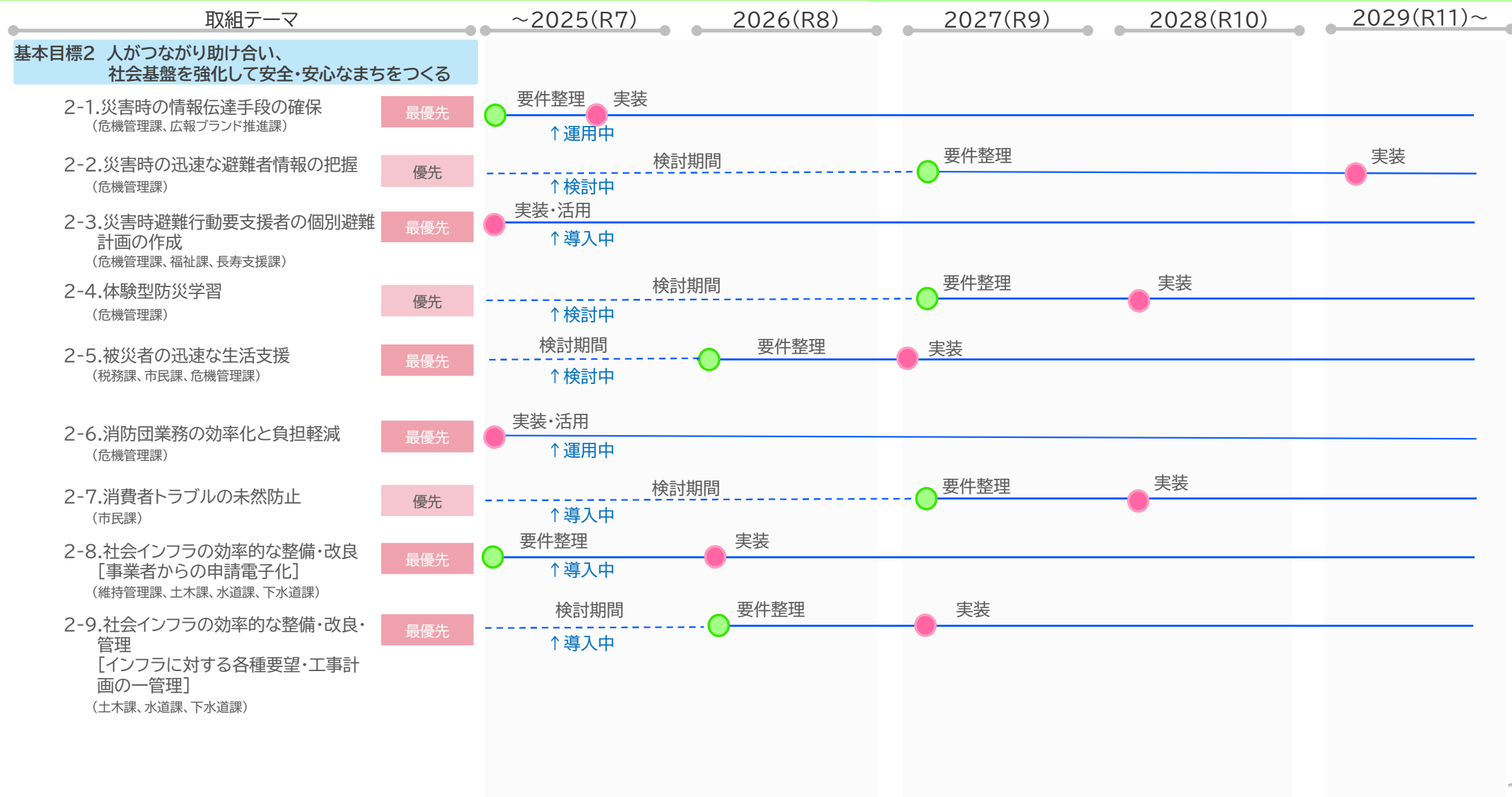
2-2 | 各基本目標におけるDXの取組

◆基本目標2 人がつながり助け合い、社会基盤を強化して安全・安心なまちをつくる

取組テーマ	優先度	課題解決イメージ	メリット	ソリューション例
2-13.社会インフラの効率的な維持管理 〔遠隔監視〕 (維持管理課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> センサーシステムの活用による用水路管理 	<ul style="list-style-type: none"> 官民におけるリアルタイムの情報共有 豪雨時に臨場を要しないことで水門管理者の負担減少 	LPWA 水位計
2-14.社会インフラの効率的な維持管理 〔ドローン活用〕 (土木課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> ドローンによる災害発生箇所の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 災害現場への職員立ち入りによる被災リスクの低減 り災状況の視認が容易 国等関係機関への説明がしやすくなる 	ドローン
2-15.社会インフラの効率的な維持管理 〔遠隔臨場〕 (地域計画課)	優先	<ul style="list-style-type: none"> タブレットやボディカメラ等のカメラを用いてオンラインで現場確認ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 現場確認への移動時間削減 工事現場において、現場作業員の待ち時間削減 	タブレット オンライン会議 スマートグラス
2-16.上下水道施設の災害対応力の強化 (経営管理課、水道課、下水道課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> 災害時等に上下水道が使用できない区域の情報提供を飯田市公開型GISで行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民が災害時等の上下水道不使用状況を即時確認が可能となる 	飯田市公開型GIS

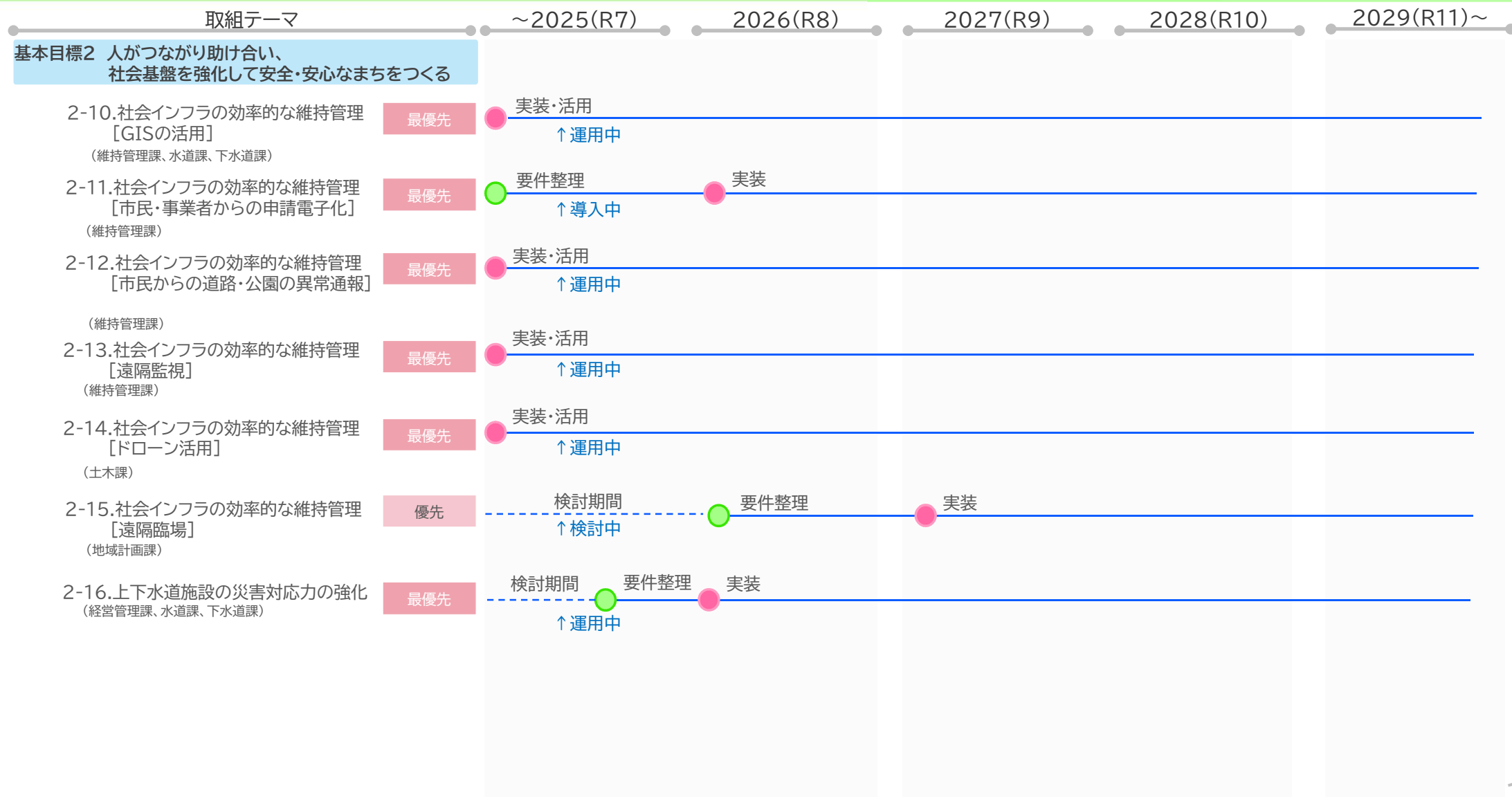
2-2-1 | 地域DX推進ロードマップ 年度ごとの取組スケジュール

凡例 ○…要件整理 ●…実装



2-2-1 | 地域DX推進ロードマップ 年度ごとの取組スケジュール

凡例 ○…要件整理 ●…実装



2-3 | 各基本目標におけるDXの取組

◆基本目標3 ^{ここ}飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる

取組テーマ	優先度	課題解決イメージ	メリット	ソリューション例
3-1. 公民館活動の推進 【情報発信】 (公民館)	継続的 検討	<ul style="list-style-type: none"> デジタルツールを活用して公民館関係者との情報のやり取りを効率化する 	<ul style="list-style-type: none"> 紙の削減、郵送料金の削減、作業効率化 	情報配信ツール
3-2. 公民館活動の推進 【会議の効率化】 (公民館)	継続的 検討	<ul style="list-style-type: none"> 公民館にタブレットを整備することで、会議により生じる作業(運営、議事録作成など)の効率化を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 紙の削減、議事録作成の効率化、情報共有の効率化 	タブレット 文字起こしツール
3-3. 安心して出産や子育てができる 環境の整備 【病児保育事務システム】 (保育家庭課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> 病児保育事務システムの運用 	<ul style="list-style-type: none"> 病児保育に関わる利用者がアプリから簡単に利用予約等が可能 デジタルデータをもとにした事務処理が可能(電話や紙でのやり取りが不要) 	病児保育ネット予約サービス
3-4. 安心して出産や子育てができる 環境の整備 【母子サポートシステムの構築】 (こども課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> 子育てに関係する部署間で参照可能な母子のサポートプランの作成・連携システムの構築 	<ul style="list-style-type: none"> 市民サービスの向上(母子への効率的なサポートの実現) 職員の業務効率化(部署間における情報共有、紙の削減) 	ローコード/ノーコードツール
3-5. 安心して出産や子育てができる 環境の整備 【電子母子手帳】 (保健課)	優先	<ul style="list-style-type: none"> 母子手帳アプリの活用を促進すると同時に、国の電子版母子手帳のガイドラインに沿った母子手帳の電子化をすすめる 	<ul style="list-style-type: none"> 予防接種の履歴や健康情報などの一元化 携帯性の向上 母子情報の把握や関係機関との情報共有が可能 紙資源の抑制 	母子手帳アプリ 電子版母子手帳
3-6. 安心して出産や子育てができる 環境の整備 【子育て支援情報の発信】 (こども課、保育家庭課)	優先	<ul style="list-style-type: none"> 子育て関連情報ウェブサイトや、SNS等を利用して子育て支援情報や各保育園の魅力を発信する 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援に関する情報や保育園に関する情報入手が可能 	子育て情報サイト SNS運用(動画編集、投稿) 3Dによる施設案内

2-3 | 各基本目標におけるDXの取組

◆基本目標3 ^{ここ}飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる

取組テーマ	優先度	課題解決イメージ	メリット	ソリューション例
3-7.保育所等の現場の負担軽減 [保育所入所調整システム] (保育家庭課)	継続的 検討	<ul style="list-style-type: none"> 保育所等入所手続や事務処理のデジタル化 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の入所等申請手続の負担軽減、利便性向上 入所審査、入所調整の事務負担軽減 	保育所入所調整システム AI-OCR
3-8.保育所等の現場の負担軽減 [保育所運営管理ツール] (保育家庭課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> 公立認定こども園の管理運営に関する業務支援システムの活用 保護者連絡ツールの活用 	<ul style="list-style-type: none"> 認定こども園の管理運営に関する業務の効率化 保護者の負担軽減、情報連携の円滑化 	保育業務支援システム メール配信システム
3-9.保育所等の現場の負担軽減 [児童発達支援システム] (こども課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> こども発達センターひまわりの運営に係る通所者等の情報管理をデジタル化する 	<ul style="list-style-type: none"> センターの運営に関する業務の効率化 センターへ通うこどもや保護者との対応時間の創出 	児童発達支援システム
3-10.保育所等の現場の負担軽減 [5歳児相談資料のデータ化] (こども課、保育家庭課)	優先	<ul style="list-style-type: none"> 5歳児相談におけるこどもの発達状況スクリーニング用データのデジタル化 	<ul style="list-style-type: none"> 保育業務従事者の業務効率化 職員の業務効率化(子育てに関係する部署間における情報共有、紙の削減) 	ローコード/ノーコードツール
3-11. 教育DXの充実 (教育センター)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> 保護者連絡ツールや校務支援システムの活用 GIGAスクール端末等のデジタル機器を活用した教育環境の整備 教員向けのICT支援の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> 個別最適な学びと協働的な学びの充実 校務に係る教職員の負担軽減 	GIGAスクール用機器 保護者連絡ツール 校務支援システム
3-12.児童クラブの効率的な運営 (学校教育課)	優先	<ul style="list-style-type: none"> 保護者へのアンケートのデジタル化 	<ul style="list-style-type: none"> 紙による管理が不要 集計・分析の効率化 時間短縮による労務環境や雇用状況の改善 	アンケート収集ツール

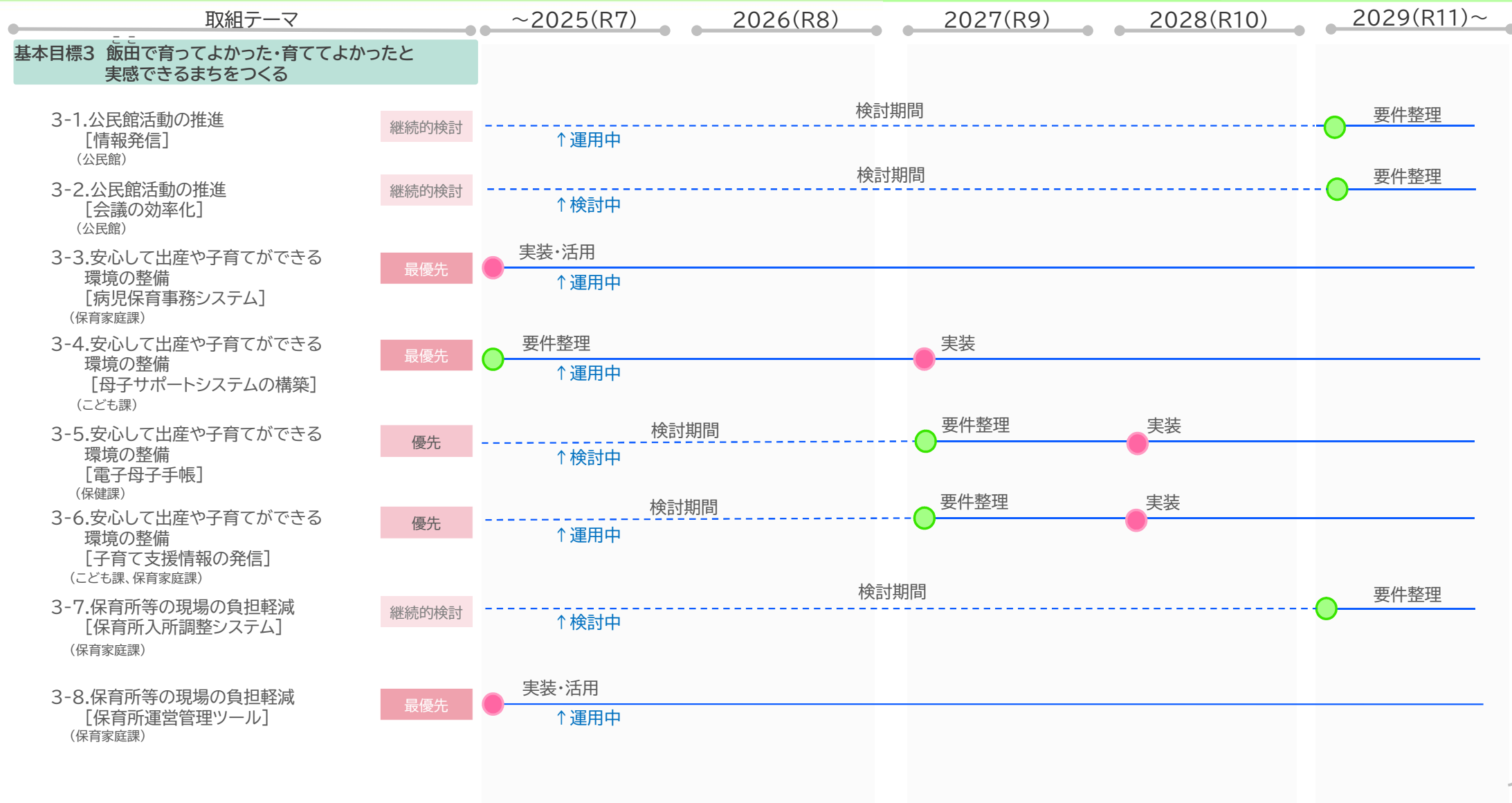
2-3 | 各基本目標におけるDXの取組

◆基本目標3 ^{ここ}飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる

取組テーマ	優先度	課題解決イメージ	メリット	ソリューション例
3-13.給食費公会計業務の効率化 (学校教育課)	優先	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食費等の公会計システム化 	<ul style="list-style-type: none"> 会計事務処理の効率化 	公会計システム
3-14.学びの場や学びの機会の充実 [文化施設の管理効率化] (美術博物館、生涯学習・スポーツ課、中央図書館、公民館)	優先	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育施設の混雑状況などをリアルタイムで把握できるサービスの構築 美術博物館および附属施設のスマホ、キャッシュレス決済による入場券の発行と、施設等への出入場数の把握や遠隔監視システムによる管理 	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用者の利便性向上 展示室や附属施設の効率的な管理 	混雑検知ソリューション 電子チケット キャッシュレス決済 遠隔監視システム スマートロック
3-15.学びの場や学びの機会の充実 [オンライン講座] (美術博物館、生涯学習・スポーツ課、公民館)	優先	<ul style="list-style-type: none"> 講座のオンライン実施 恒常的に学習できる環境整備(講座のアーカイブ配信)や、新たな学習の方法を検討 出前講座内容のデジタル化、オンライン化 	<ul style="list-style-type: none"> 居住地に制限されることなく地域について学習することができる デジタルコンテンツにより、学びの深化が可能 	動画配信 SNS
3-16.学びの場や学びの機会の充実 [コミュニティプラットフォーム] (公民館)	継続的検討	<ul style="list-style-type: none"> 遠く離れた人とつながったり、情報が集まる場所や、自己表現・自己実現の場としてのプラットフォームを構築 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティの活性化 コミュニケーションの活発化 	オンライン会話ツール メタパース
3-17.学びの場や学びの機会の充実 [図書システムのネットワーク化] (中央図書館、学校教育課)	継続的検討	<ul style="list-style-type: none"> 図書分館のコンピュータシステムの導入 中央図書館と学校図書館の所蔵図書システムのネットワーク化 	<ul style="list-style-type: none"> 蔵書管理の効率化 公立図書館による学校図書館の支援 	図書館システム システム連携

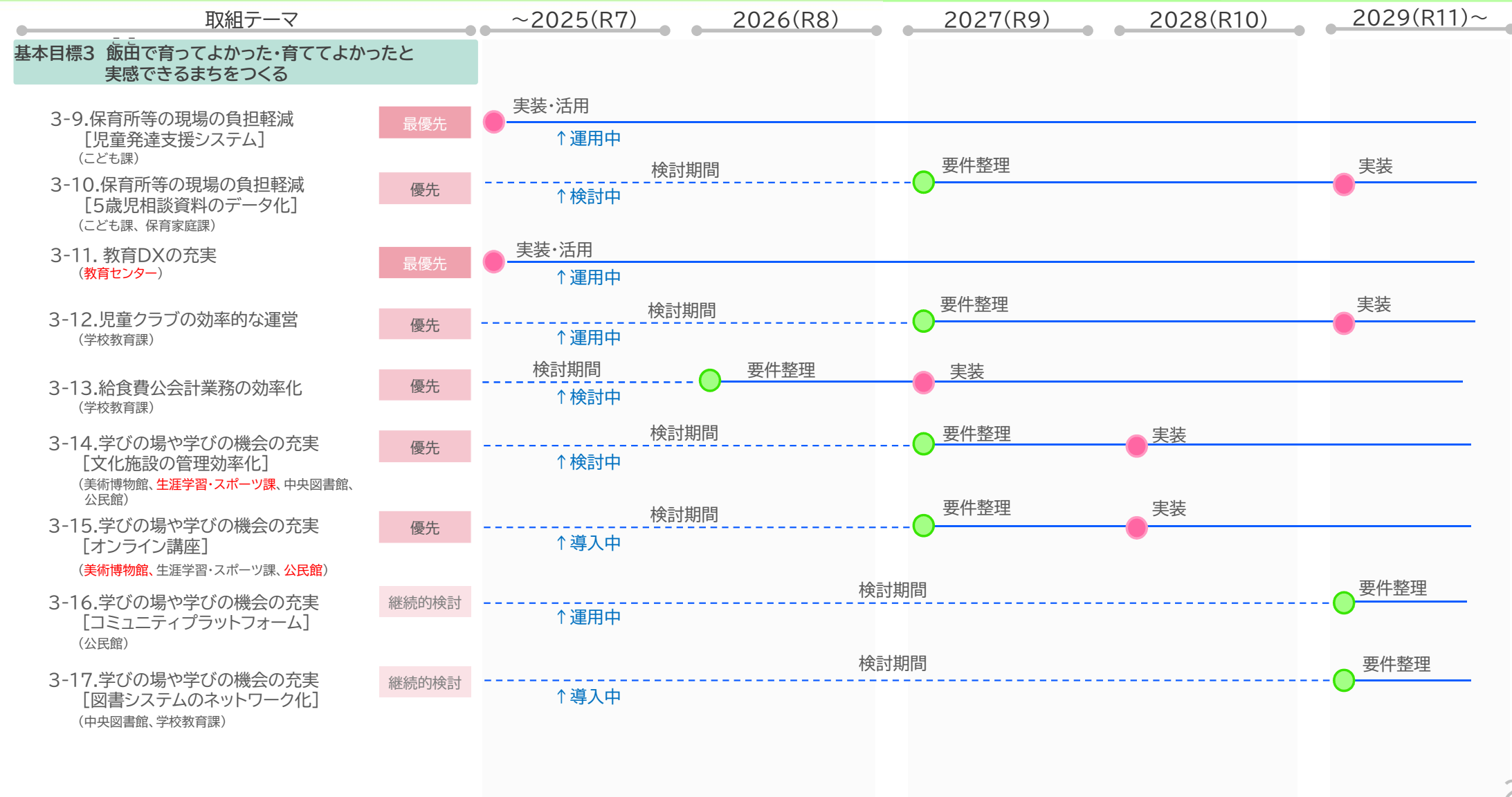
2-3-1 | 地域DX推進ロードマップ 年度ごとの取組スケジュール

凡例 ○…要件整理 ●…実装



2-3-1 | 地域DX推進ロードマップ 年度ごとの取組スケジュール

凡例 ○…要件整理 ●…実装



2-4 | 各基本目標におけるDXの取組

◆基本目標4 自然と共に歩む豊かな循環型社会をつくる

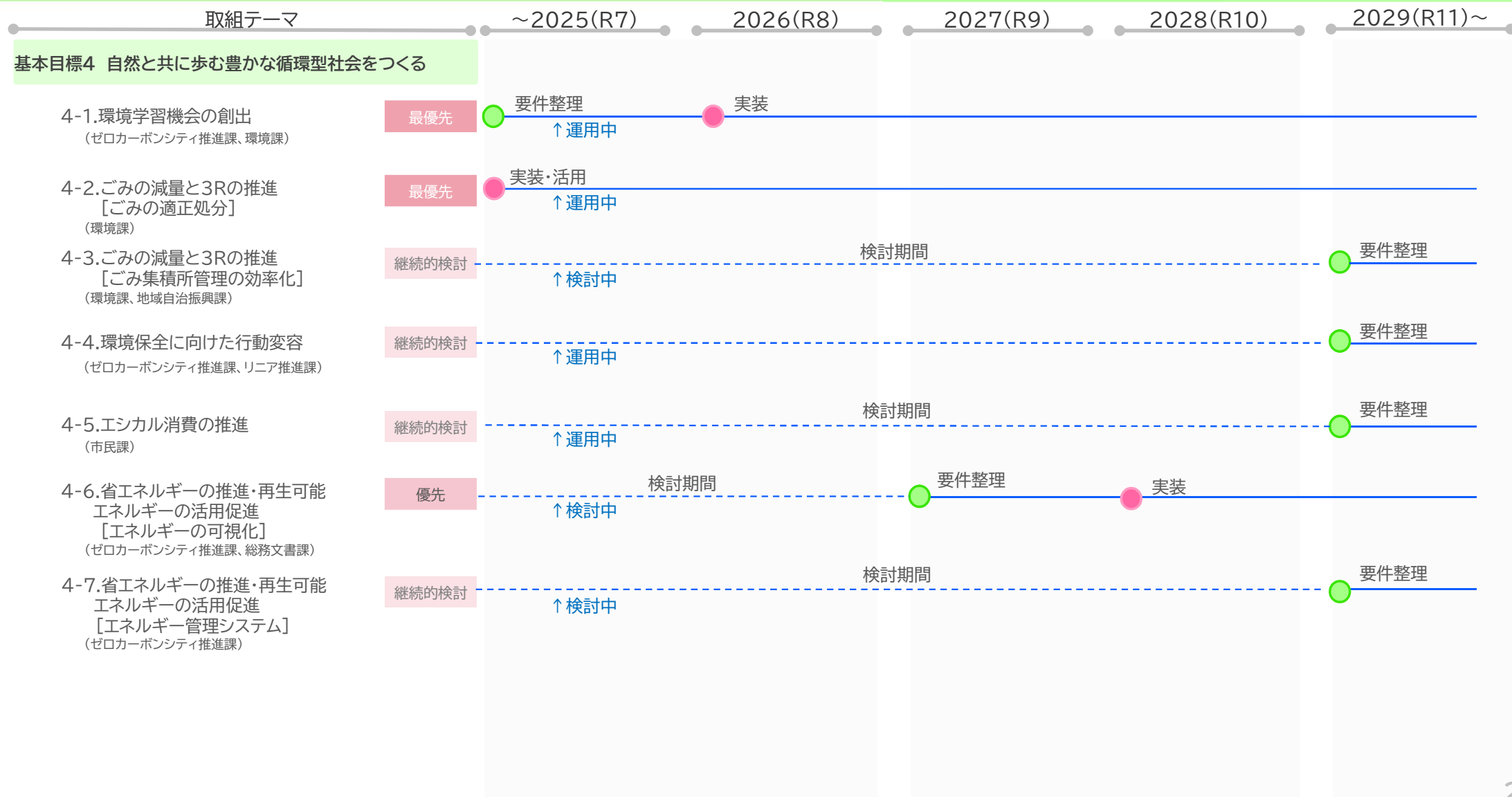
取組テーマ	優先度	課題解決イメージ	メリット	ソリューション例
4-1.環境学習機会の創出 (ゼロカーボンシティ推進課、環境課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> いつでも、どこでも閲覧可能な環境教育教材を作り、環境学習を推進する 	<ul style="list-style-type: none"> 出前授業にかかる職員の負担を削減 オンラインコンテンツとして用意することで市民がいつでも利用可能 	動画配信 オンライン配信環境の整備
4-2.ごみの減量と3Rの推進 [ごみの適正処分] (環境課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> ごみ分別促進アプリの積極的な活用によるごみの適正な処分、3Rの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 3Rの推進によるごみの減量 	ごみ分別推進アプリ
4-3.ごみの減量と3Rの推進 [ごみ集積所管理の効率化] (環境課、地域自治振興課)	継続的 検討	<ul style="list-style-type: none"> デジタルツールを活用したごみ集積所の維持・管理負担の軽減 	<ul style="list-style-type: none"> ごみ集積所・リサイクルステーションの管理運営に関する負担の軽減 	遠隔監視ソリューション
4-4.環境保全に向けた行動変容 (ゼロカーボンシティ推進課、リニア推進課)	継続的 検討	<ul style="list-style-type: none"> 自家用車の利用だけでなく公共交通機関の利用や、歩きを推奨する 	<ul style="list-style-type: none"> CO2排出量の削減 既存公共交通機関の維持 	習慣化アプリ (活動量の見える化)
4-5.エシカル消費の推進 (市民課)	継続的 検討	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校などに「エシカル消費」の意義について理解してもらい、総合学習の時間などにおいて、学習の機会を創出する 	<ul style="list-style-type: none"> エシカル消費についての理解度向上 	動画配信
4-6.省エネルギーの推進・再生可能 エネルギーの活用促進 [エネルギーの可視化] (ゼロカーボンシティ推進課、総務文書課)	優先	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギー由来の電力の供給量や消費量をリアルタイムで把握(見える化)する 公共施設の消費エネルギーの見える化 	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー効率改善・最適化 再生可能エネルギーの利用促進 	エネルギー可視化 ソリューション

◆基本目標4 自然と共に歩む豊かな循環型社会をつくる

取組テーマ	優先度	課題解決イメージ	メリット	ソリューション例
4-7.省エネルギーの推進・再生可能エネルギーの活用促進 [エネルギー管理システム] (ゼロカーボンシティ推進課)	継続的 検討	<ul style="list-style-type: none">公共施設、家庭、企業の太陽光発電設備・蓄電等が連携したエネルギーシステムやVPP(仮想発電所)を構築する	<ul style="list-style-type: none">再生可能エネルギーの推進による脱炭素社会の実現	エネルギー管理システム

2-4-1 | 地域DX推進ロードマップ 年度ごとの取組スケジュール

凡例 ○…要件整理 ●…実装



2-5 | 各基本目標におけるDXの取組

◆基本目標5 誰もが多様な働き方で活躍でき、次世代につながる魅力ある産業をつくる

取組テーマ	優先度	課題解決イメージ	メリット	ソリューション例
5-1. 営農者の高齢化対策・後継者支援 (農業課)	優先	<ul style="list-style-type: none"> 安定的な生産確保につながるデジタル技術の活用 経験則などに裏打ちされた農業技術のデジタルアーカイブなどによるノウハウの継承 生産団体等との連携による最新技術を導入したモデル圃場の展開 農作業人材マッチングアプリを活用した人材確保 	<ul style="list-style-type: none"> 農業経営の継承の円滑化 新規就農者支援の多様化 労働力不足解消 安定的な収益確保 兼業農業従事者による農地保全 	XRコンテンツ スマートグラス 農作業人材マッチングアプリ 生産管理システム
5-2. 森林資源の利活用推進 [GX活動の推進] (林務課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> Jクレジット制度の導入による環境配慮と森林資源の価値向上を図る ドローン等による測量技術を活用した現状地形、樹種、樹高の情報から、施業可能地域の集約化や地形に負担をかけない路網及び架線のルート選定等の施業計画を検討 	<ul style="list-style-type: none"> GXの活動による社会貢献 安全な確認作業 確認作業の効率化 	J-クレジット登録 森林データの複層化 ドローン 衛星活用
5-3. 森林資源の利活用推進 [施業の効率化・人材確保] (林務課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> 架線集材、ドローンやIT技術などの活用、高性能林業機械の導入支援などにより、施業の効率化、安全確保を図り、労働環境の改善や、若者や女性など多様な人材確保に繋げる 	<ul style="list-style-type: none"> 新規就労者の採用状況改善 安全な確認作業 確認作業の効率化 	架線集材 高性能林業機械の導入
5-4. 事業承継者問題の解決 (産業振興課)	優先	<ul style="list-style-type: none"> 事業承継に関する情報をいつでも取得できる環境の整備 事業承継・引継ぎ支援センターの後継者人材バンクの活用 	<ul style="list-style-type: none"> 事業承継情報の入手が容易化 事業承継をしたい事業者と承継希望者とをつなぐことが可能 地域産業の維持 	公式WEBサイト 後継者人材バンク
5-5. 多様な働き方ができる場の創出 (産業振興課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> デジタルキャリアを形成し、スキルを活かすためのテレワーク環境やコワーキングスペースを創出 	<ul style="list-style-type: none"> ライフステージに応じた働きやすい環境整備 	デジタルスキルアップ講座 テレワーク コワーキングスペース
5-6. 中小・零細、高齢事業者のデジタル化支援 (商業観光課)	継続的検討	<ul style="list-style-type: none"> 消費者ニーズへの対応、事業の効率化につながるデジタルツールの活用 情報発信・広告宣伝のデジタル化 	<ul style="list-style-type: none"> 各事業者の生産性向上 	商業デジタル化講座 商業DX促進支援

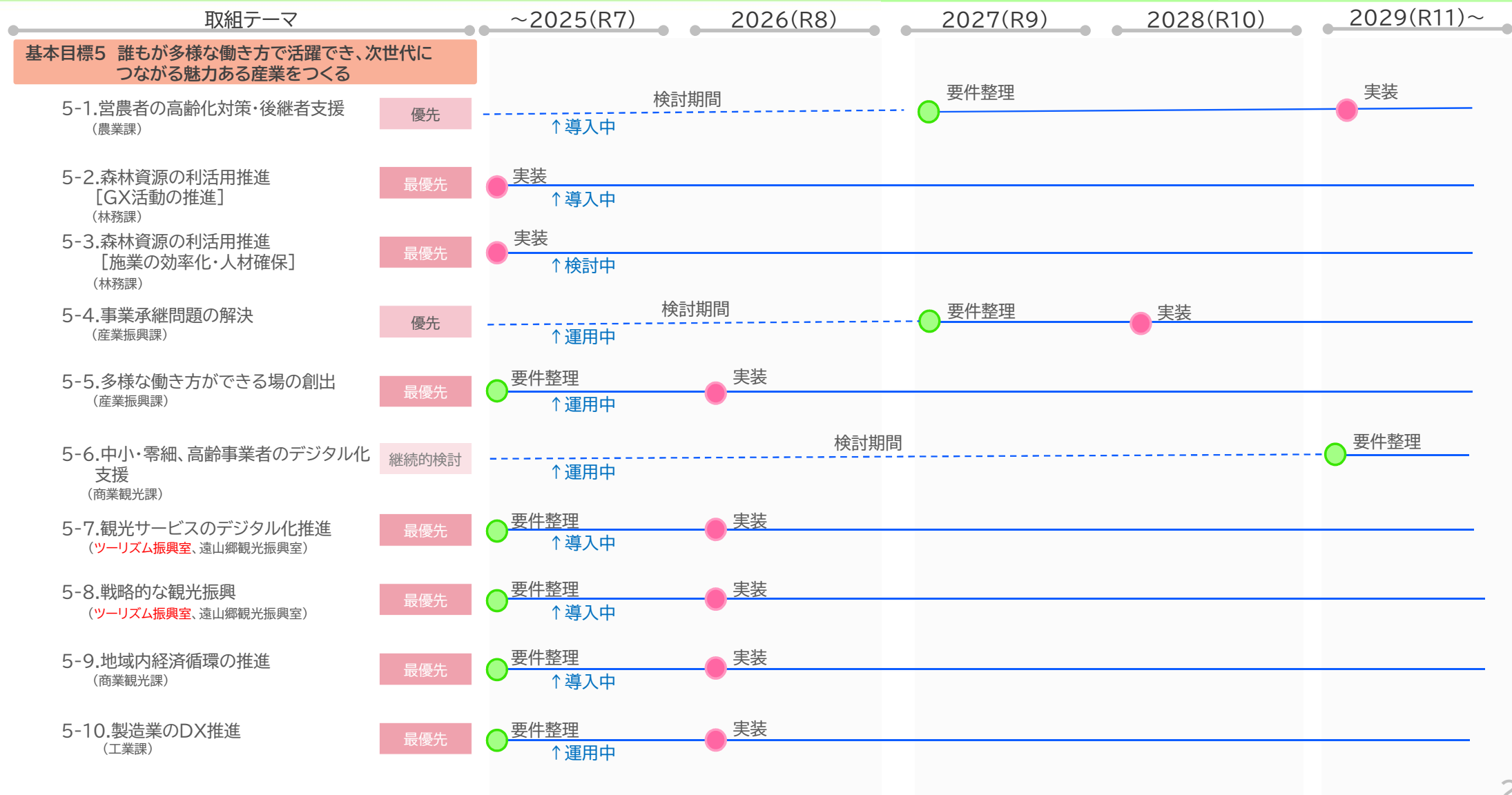
2-5 | 各基本目標におけるDXの取組

◆基本目標5 誰もが多様な働き方で活躍でき、次世代につながる魅力ある産業をつくる

取組テーマ	優先度	課題解決イメージ	メリット	ソリューション例
5-7.観光サービスのデジタル化推進 (ツーリズム振興室、遠山郷観光振興室)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅等の観光施設にて観光情報、道路情報、人流のヒートマップ配信の実施 観光地におけるキャッシュレス決済導入 	<ul style="list-style-type: none"> 観光客の利便性向上 地域経済活性化 	デジタルサイネージ 各種キャッシュレス整備
5-8.戦略的な観光振興 (ツーリズム振興室、遠山郷観光振興室)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> 現状の観光人流を収集、可視化し分析 データに基づく観光戦略立案 	<ul style="list-style-type: none"> マーケティング最適化による集客拡大 地域経済の活性化 	人流センサー モバイル人流分析
5-9.地域内経済循環の推進 (商業観光課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> 地域内生産・流通・消費や外貨獲得につながるデジタルツールの活用 	<ul style="list-style-type: none"> 地域経済活性化 	地域通貨 地域ポイント 商業DX促進支援
5-10.製造業のDX推進 (工業課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> 人材不足・業務平準化・生産性向上等におけるDX化・自動化の取組促進 デジタル人材の育成やデジタル技術関連企業の誘致 	<ul style="list-style-type: none"> 業務平準化の推進 生産効率の向上 品質管理の向上 新たなビジネスの創出 	業務効率化・生産管理システム 生産工程現場改善支援 自動化導入支援
5-11.空の空間利活用による新産業の育成 (工業課)	継続的検討	<ul style="list-style-type: none"> 災害時、平常時の物資共有含めドローンを利用した空の利活用 航空機電動化・次世代空モビリティ分野の地域産業化 	<ul style="list-style-type: none"> 配送の労働力不足解消 配送における新たな職の供給 地場精密産業の高度化・活性化 	空モビリティ技術
5-12.新産業の育成 (工業課)	継続的検討	<ul style="list-style-type: none"> スタートアップ支援 企画力向上による産業の活性化 地域内IT・IoT事業者の総合的な企業力強化を図ることによる地域としてのIT系競争力の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 南信州における地域経済の活性化 働く場の創出 	デジタルスキルアップ講座

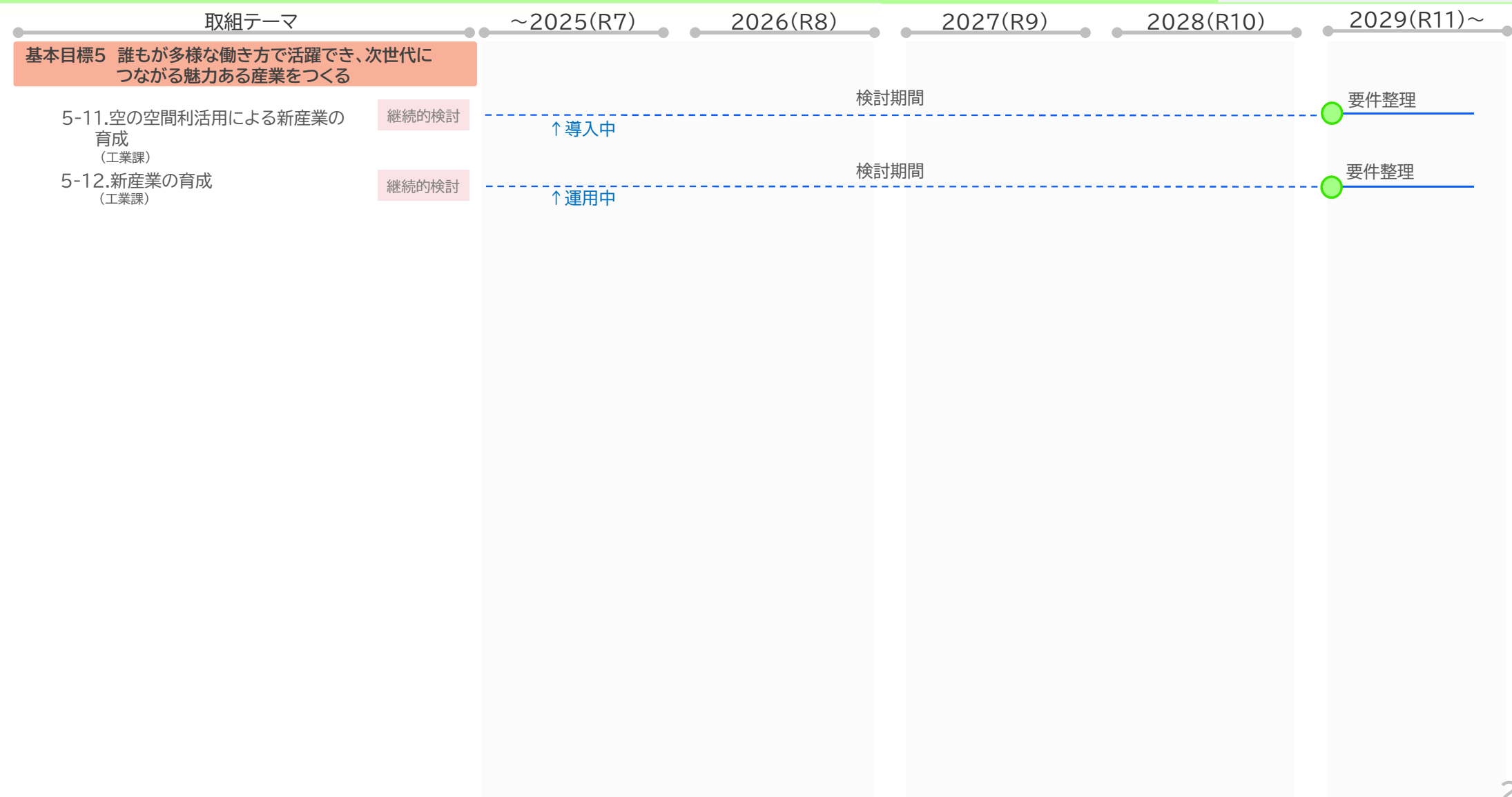
2-5-1 | 地域DX推進ロードマップ 年度ごとの取組スケジュール

凡例 ○…要件整理 ●…実装



2-5-1 | 地域DX推進ロードマップ 年度ごとの取組スケジュール

(凡例) ● …要件整理 ● …実装



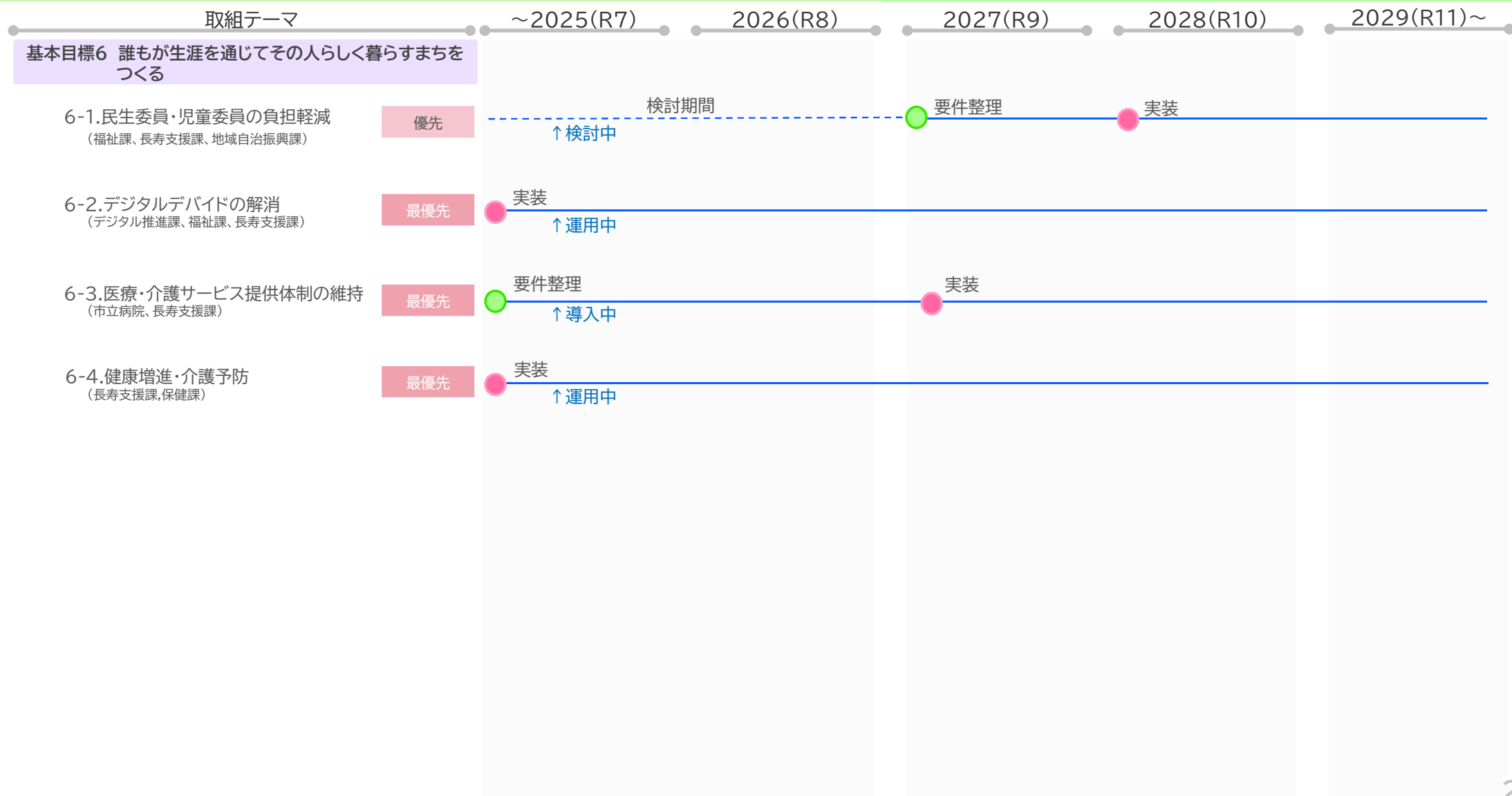
2-6 | 各基本目標におけるDXの取組

◆基本目標6 誰もが生涯を通じてその人らしく暮らすまちをつくる

取組テーマ	優先度	課題解決イメージ	メリット	ソリューション例
6-1.民生委員・児童委員の負担軽減 (福祉課、長寿支援課、地域自治振興課)	優先	<ul style="list-style-type: none"> 福祉台帳、高齢者台帳の電子化 タブレットを利用した電子化台帳の管理 	<ul style="list-style-type: none"> 各種情報の電子化により民生児童委員の負担が軽減される 	タブレット
6-2.デジタルデバイドの解消 (デジタル推進課、福祉課、長寿支援課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> 誰もがスマートフォン等のデジタルデバイスを生活の中で活用できるように、スマートフォンやパソコン、アプリ等の使い方教室を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> 生活の利便性が向上する 社会参加がしやすくなる 行政の事務処理が効率化する 	スマートフォン教室 パソコン講座
6-3.医療・介護サービス提供体制の維持 (市立病院、長寿支援課、保健課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> 専門的人材の確保に向けたSNSなどによる情報発信の強化 介護認定事務や入所記録のデジタル化 	<ul style="list-style-type: none"> 持続的な地域医療提供体制の実現 介護人材の負担軽減 	SNS 介護事務システム
6-4.健康増進・介護予防 (長寿支援課、保健課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の介護予防や、健康増進のための身体活動の増加や運動習慣の定着に向けて、健康ポイントを地域ポイント(地域通貨)として活用する 	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防 健康増進 	地域ポイント

2-6-1 | 地域DX推進ロードマップ 年度ごとの取組スケジュール

凡例 ○ …要件整理 ● …実装



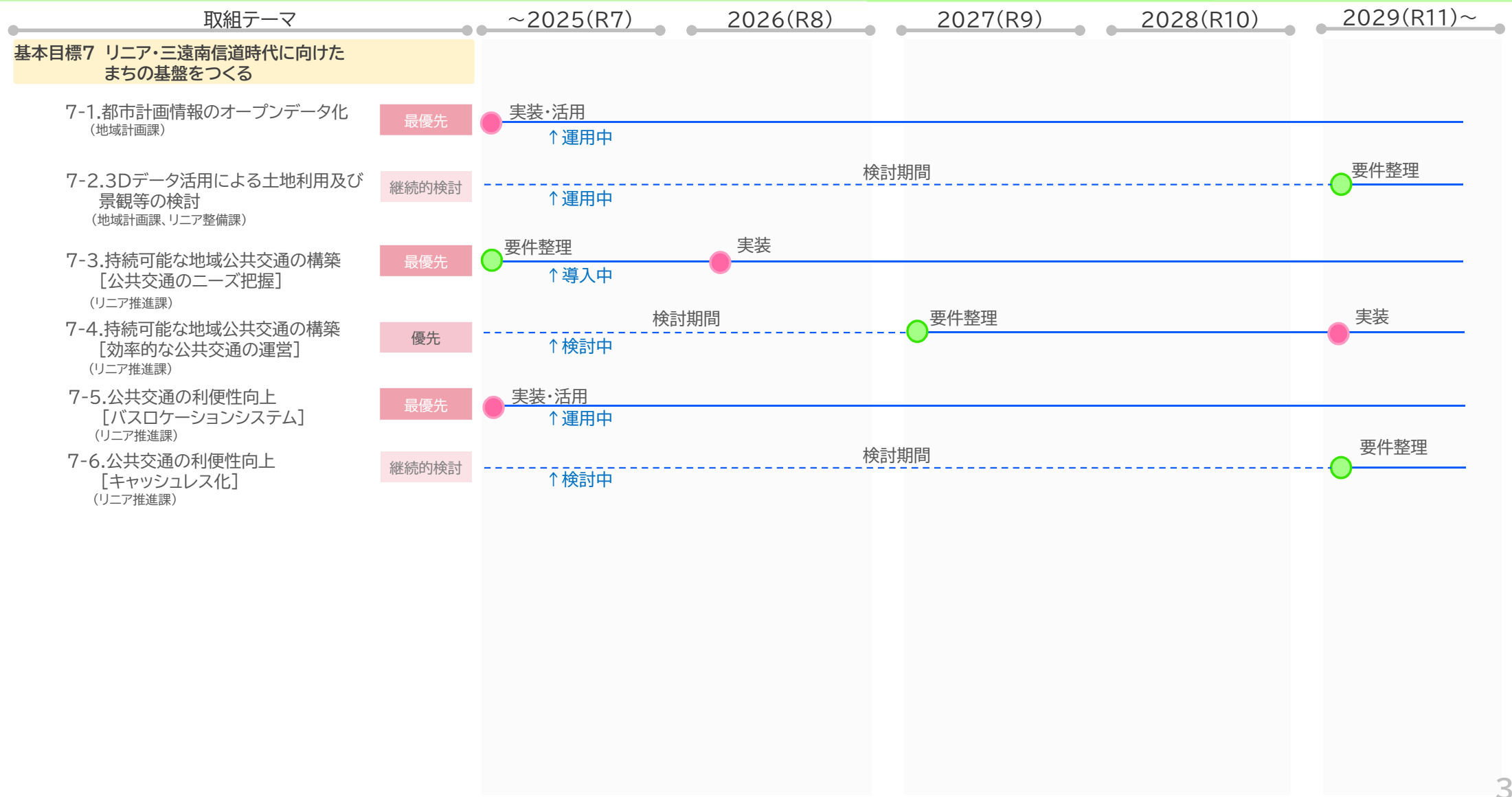
2-7 | 各基本目標におけるDXの取組

◆基本目標7 リニア・三遠南信道時代に向けたまちの基盤をつくる

取組テーマ	優先度	課題解決イメージ	メリット	ソリューション例
7-1.都市計画情報のオープンデータ化 (地域計画課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画図等のオープンデータ(公開GIS)化 	<ul style="list-style-type: none"> 市民及び事業者が随時必要な情報の取得が可能となる 情報取得にかかる問合せ件数の減少 	飯田市公開型GIS
7-2.3Dデータ活用による土地利用及び 景観等の検討 (地域計画課、リニア整備課)	継続的 検討	<ul style="list-style-type: none"> 3Dデータ活用/オープンデータ化による土地利用及び景観づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 都市モデルを3次元で提示することによる市民や関連業者の理解度向上 	3Dデータ デジタルツイン 点群データ
7-3.持続可能な地域公共交通の構築 [公共交通のニーズ把握] (リニア推進課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通のニーズを把握するためのデジタル技術を活用したアンケート調査や、移動需要に対するデータを収集する 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の意見を簡単に収集 集計作業の効率化 	アンケート収集ツール
7-4.持続可能な地域公共交通の構築 [効率的な公共交通の運営] (リニア推進課)	優先	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術を活用して、ニーズに基づいた公共交通が運用され、事業者は効率的に車両等の運用ができるようになる 自動運転技術導入に向けての実証実験を進める 	<ul style="list-style-type: none"> 効率的な移動手段の手配/利用 	デマンド交通 自動運転
7-5.公共交通の利便性向上 [バスロケーション] (リニア推進課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> 路線バスの運行位置情報を提供し、バスの利用者がスマートフォンなどで位置を確認することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通による移動の利便性向上 	バスロケーションシステム
7-6.公共交通の利便性向上 [キャッシュレス決済] (リニア推進課)	継続的 検討	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関への汎用性の高い決済方法の導入 	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通による移動の利便性向上 	キャッシュレス決済

2-7-1 | 地域DX推進ロードマップ 年度ごとの取組スケジュール

凡例 ○…要件整理 ●…実装



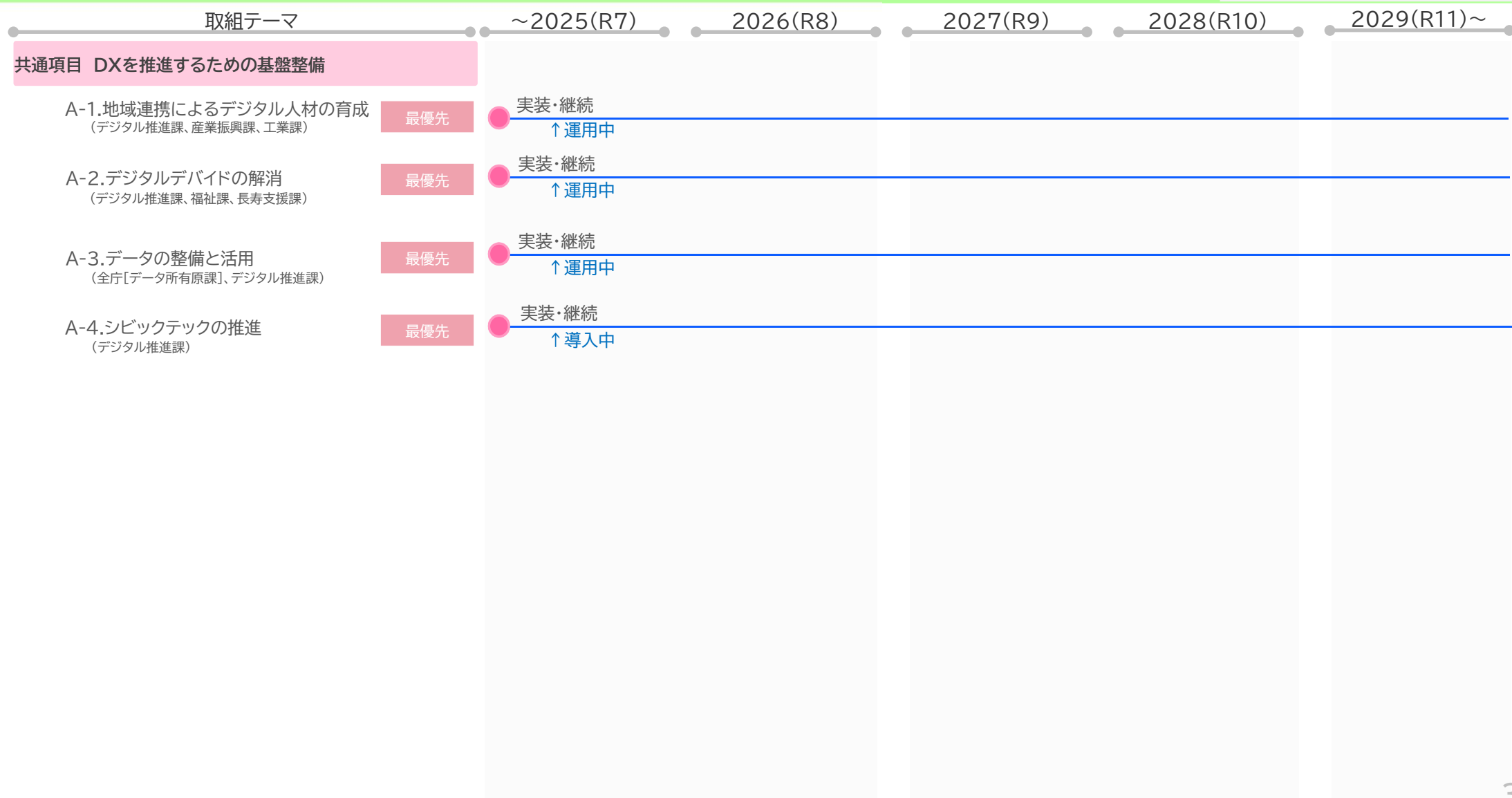
2-8 | 各基本目標におけるDXの取組

◆共通項目 地域DXを推進するための基盤整備

取組テーマ	優先度	課題解決イメージ	メリット	ソリューション例
A-1.地域連携によるデジタル人材の育成 (デジタル推進課、産業振興課、工業課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> 高等教育機関や地域内のICT事業者などと連携し、「デジタル技術を使える人」、「デジタル技術により新たな事業・製品などを生み出す人」、「デジタル化のニーズを伝えられる人」の育成に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> デジタルスキルを有する人材が様々な業界・業態においてDXの推進に寄与する 仕事や生活における効率化などがすすむ 	プログラミング教室 デジタルものづくり講座 デジタルスキル講座
A-2.デジタルデバイドの解消[再掲] (デジタル推進課、福祉課、長寿支援課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> 誰もがスマートフォン等のデジタルデバイスを生活の中で活用できるように、スマートフォンやパソコン、アプリ等の使い方教室を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> 生活の利便性が向上する 社会参加がしやすくなる 行政の事務処理が効率化する 	スマートフォン教室 パソコン講座
A-3.データの整備と活用 (全庁[データ所有原課]、デジタル推進課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> 行政が保有する情報をオープンデータとして整備し、公開する 組織を超えてデータ(情報)共有する 市民や事業者が積極的にデータを利活用する 様々な団体や事業者が所有するデータをトリミングの上、公開する 	<ul style="list-style-type: none"> 公開(共有)されたデータを活用し、様々な業界・業態においてDXが進む 	データ分析・利活用基盤 飯田市公開型GIS
A-4.シビックテックの推進 (デジタル推進課)	最優先	<ul style="list-style-type: none"> 市民がオープンデータなどを活用し、デジタルツールや自ら使いやすい(使うための)アプリ開発などを行い、地域課題の解決に取り組めるように、地域社会のDX推進の機運醸成を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 公助によらない地域課題の解決が可能となる 	データ分析・利活用基盤 飯田市公開型GIS

2-8-1 | 地域DX推進ロードマップ 年度ごとの取組スケジュール

凡例 ○ …要件整理 ● …実装



3 | 地域DX推進ロードマップの推進体制

検討チームによる推進

異なる分野間で共通するソリューションは、関係する部門が連携して検討チームを構成して推進することで、デジタル化による相乗効果を創出します。

共通ソリューションの例	関係する活用分野
情報配信ツール	広報 防災 公民館活動 地域自治
公開型GIS	建設 上下水道 文化財 防災
動画コンテンツ	文化財 環境教育 生涯学習 防災教育 観光
翻訳ツール	多文化共生 窓口案内 公民館活動 観光
デジタルアーカイブ	文化財 図書資料 美術・博物 史資料
デマンド交通	公共交通 観光 福祉
キャッシュレス決済	商業 観光 文化施設 公共交通
地域通貨・地域ポイント	商業 観光 公共交通 健康・福祉 地域活動
スマートグラス	農業 美術・博物
ドローン	建設 林業 工業 防災
遠隔監視	建設 環境
工事関係電子申請	建設 上下水道

ソリューションごとに検討チームを構成

ロードマップの見直し

デジタル技術を取り巻く環境の変化が激しいため、年度ごとに取組内容や優先度、実装時期などの見直しを行い、適時に最適なデジタル技術の活用を図ります。